

第15回 うえだ城下町映画祭



うえだ城下町映画祭15周年／信州上田フィルムコミッション10周年
新生上田市5周年記念事業

この秋、
あったかい
映画に触れたい。

会場=上田文化会館

前夜祭

11.11

特集／山田洋次（監督50周年）



- 18:30~19:00
ゲストトーク 山田洋次監督
- 19:00~21:06「おとうと」上映

11.12

特集／上田ロケ・自主制作映画

- 9:30~20:43
作品上映（詳細は裏面）
- 11:50~12:00
オープニング 品田雄吉実行委員長
- 14:30~16:30
第9回自主制作映画コンテスト
表彰式・大賞作品上映

全入賞作品上映会〈鑑賞無料〉

11.19  11.20  13:30~
会場=上田市マルチメディア情報センター
TEL0268-39-1000

- 16:30~16:45
「イヤータグ」舞台挨拶 山岸謙太郎監督
- 18:00~18:45
ゲストトーク「映画のまち上田」
関本郁夫監督、田中要次、安河内央之、
佐藤哲哉、西川弘之

市内ロケ地めぐり

「犬神家の一族」上映後
■14:40~〈約2時間30分〉
※申込受付
当日（12日）11:30~ 映画祭受付にて
定員（15名）になり次第締め切ります。



山田洋次監督 関本郁夫監督 田中要次（俳優） 安河内央之（照明技師） 山岸謙太郎監督 円尾敏郎（映画研究者）

チケット料金（全て税込・未就学児 無料）

- 前夜祭（11日）
一般=1,000円／高校生以下=500円
- 1日券（12日、13日）
一般=1,800円／前売=1,500円
（前売は11日まで）
高・大学生=800円／中学生以下=500円
※1日券はその日（12日又は13日）に限り出入自由の見放題

- インターネットでの申込み
映画祭のホームページから
<http://www.umic.jp/eigasai/index.html>
- ケイタイでの
チケット予約コード
- チケット取扱い
琴光堂 平安堂（上田店、上田しおだ野店、長野店、東和田店、軽井沢店、
川中島店、須坂店、若槻店、更埴店、あづみ野店、茅野店、諏訪店）
幻灯舎 上田創造館 上田市マルチメディア情報センター 上田文化会館
丸子文化会館 真田中央公民館 武石公民館 上田市教育委員会第二庁舎



11.13

特集／時代劇

- 10:00~19:34
作品上映（詳細は裏面）
- 15:20~15:50
トーク「遊侠一匹がでかあがるまで」
円尾敏郎

主催／うえだ城下町映画祭実行委員会
共催／信越放送 文化庁 東京国立近代美術館フィルムセンター 特別協賛／信州ハム株式会社
後援／上田地域広域連合 上田商工会議所 上田市社会福祉協議会 上田観光コンベンション協会 信州地域デジタルアーカイブ研究会
一般社団法人長野県情報サービス振興協会東信支部 上田市文化芸術協会（社）上田青年会議所 上田商業21世紀会 上田市ホテル協会
東京上田会（公財）八十二文化財団 上田婦人団体連絡協議会 女と男うえだ市民の会 上田市連合婦人会 JR上田駅しなの鉄道（株）
上田交通株式会社 信濃毎日新聞社 信州民報 東信ジャーナル社（株）週刊上田新聞社 上田ケーブルビジョン 丸子テレビ放送株式会社
信州大学繊維学部 長野大学 上田女子短期大学 長野県工科短期大学校
協力／セム・コーポレーション（株）オーエムシー

11/11(金)

おとうと



2010年 製作:松竹 監督:山田洋次
出演:吉永小百合 笑福亭鶴瓶 蒼井優 加瀬亮
加藤治子 笹野高史 小林稔侍 森本レオ
石田ゆり子 キムラ緑子
山田監督にとって、「十五才 学校Ⅳ」以来10年
ぶりの現代劇。東京郊外で薬局を営む吟子には、
子供の時から問題ばかり起こす弟がいる。
消息不明だった彼が突然現れたのは、一人娘の
結婚の日。騒動が起こらないはずがなかった。

11/12(土)

男はつらいよ 寅次郎純情詩集 (上田ロケ作品)



1976年 製作:松竹 監督:山田洋次
出演:渥美清 倍賞千恵子 榎ふみ 京マチ子
下條正巳 三崎千恵子 前田吟 太幸久雄
笠智衆 吉田義夫 浦辺粂子
シリーズの18作目。ふらりと旅先から帰ってきた
寅次郎は、満男の担任の雅子先生の家を訪問をめぐち
くちやにして、さくら夫婦と喧嘩になり、またまた
とらやを飛びだした。旅先の紅葉の別所温泉で、昔
世話をした旅役者一行と再会した寅次郎だったが、

犬神家の一族 '76 (上田ロケ作品)



1976年 製作:角川映画 監督:市川崑
出演:石坂浩二 高峰三枝子 三條美紀 草笛光子
あおい輝彦 島田陽子 坂口良子 小沢栄太郎
加藤武 大滝秀治 岸田今日子 三國連太郎
製薬王といわれた信州の犬神佐兵衛が不可解な遺言状
を残して世を去った。事件を予感した弁護士助手の
若林に招かれて那須の町にやって来た金田一耕助
だったが、その若林の毒罠にはまると、犬神家をめぐつ
て次々と起きる凄惨な事件に巻き込まれていく。

スケジュール

11/11(金) 前夜祭/山田洋次監督50周年

18:30~19:00 「おとうと」ゲストトーク
山田洋次監督
19:00~21:06 おとうと

上田ロケ作品/自主制作映画コンテスト

09:30~11:14 男はつらいよ
寅次郎純情詩集
11:50~12:00 オープニング
品田雄吉実行委員長
12:00~14:26 犬神家の一族
14:30~16:30 自主制作映画コンテスト
表彰式&大賞作品上映
16:30~16:45 「イヤータグ」舞台挨拶
山岸謙太郎監督
16:45~17:52 イヤータグ
18:00~18:45 「映画のまち上田」ゲストトーク
関本郁夫監督、照明技師 安河内央之
伸儀 田中要次、佐藤昌彦、西川弘之
18:45~20:43 スクール・ウォーズ HERO

11/12(土)

イヤータグ (上田ロケ作品)



2011年 製作:Project Yamaken
監督:山岸謙太郎
出演:正木蒼二 高橋将仁 藤村知可
渡部遼介 深水三章
連続強盗殺人か起り、被害者の死体には15桁の
数字が印刷された「イヤータグ」と呼ばれる牛の
管理札が打ち込まれていた。一体それが何を意味
するのか、エリートとアウトロー2人の刑事が
姿なき犯人を追うノワールサイコサスペンス。

スクール・ウォーズ HERO



2004年 製作:「スクール・ウォーズ HERO」製作
委員会 監督:関本郁夫
出演:照英 和久井映見 内田朝陽 SAYAKA
小林弘彦 宮川花子 間寛平 里見浩太郎
往年の大映連続テレビドラマにもなった有名な
実話をモデルに映画化された。1974年、京都市立
伏見第一工業高校ラグビー部。ひたすら破壊に
走る生徒たちと、元全日本代表の熱血教師との
闘い。それは、112対0の完敗からはじまった。

11/13(日)

武士の家計簿



2010年 製作:武士の家計簿製作委員会
監督:森田芳光 出演:堺雅人 仲間由紀恵
中村雅也 松坂慶子 草笛光子 西村雅彦 伊藤祐輝
藤井美菜 大八木帆斗 嶋田久作 宮川一朗太
幕末の加賀藩、御算用者の家の八代目として父の
あとを継いだ直之は、役人たちの米の横流しを知つ
てしまったために左遷されそうになる。だが、悪事は
あばかれ、直之は出世の道に乗るのだった。ところが、
身分が高くなるに連れ、逆に家計は火の車に...

11/13(日)

たそがれ清兵衛 (上田ロケ作品)



2002年 製作:松竹 監督:山田洋次
出演:真田広之 宮沢りえ 田中浜 大杉 遼
伊藤未希 橋口恵莉奈 草村礼子 越塚 満
丹波哲郎 小林稔侍 神戶 浩 岸 恵子
海坂藩の下級武士井口清兵衛は、老母と幼いふたり
の娘を抱え、仕事を終えたとまっすぐ家に帰る
毎日を送っていた。そんなある日、親友の飯沼倫
之丞から、彼の妹の朋江が夫の暴力がもてで別れ、
家に帰って来ているのを聞かされたのだった。

沓掛時次郎 遊俠一匹



1966年 製作:東映 監督:加藤 泰
出演:中村錦之助 池内淳子 渥美清 東千代之介
三原葉子 岡崎二朗 弓 恵子 阿部九州男
清川虹子
長谷川伸原作の脱隊任侠もので、映画史に残る名作。
信州生れの旅鳥の時次郎は、身延の朝吉と気ままな
旅を続けている。草鞋を脱いだ佐原の勘蔵一家と
牛堀の権一家の縄張り争いから去ることに納得
がしぬ朝吉は、一人で敵地に乗りこむが、

遙かなる山の呼び声



1980年 監督:山田洋次
出演:高倉 健 倍賞千恵子 ハナ 肇 武田鉄矢
木ノ葉のこ 吉岡秀隆 畑 正憲 杉山とく子
渥美清
山田監督の代表作の一本「幸福の黄色いハンカチ」の
姉妹編で、高倉と倍賞が再び共演。女子一で息子を
育てながら広大な農場を営む民子は、素性不明の
男に懇願され、警戒しながらも雇う。ある日、民子に
好意を寄せる会社社長が彼女を襲行しようとして、

●ゲストプロフィール

監督 山田洋次
大阪府出身。東京大学法学部卒。
今年映画監督生活50周年を迎えた。
69年「男はつらいよ」シリーズ開始。
ほか代表作に「家族」(70)、「故郷」
(72)、「同胞」(75)をはじめ、第1回
日本アカデミー賞最優秀監督賞他
6部門受賞の「幸福の黄色いハンカチ」
(77)や「息子」(91)、「学校」
(93)など。近年も、「たそがれ清兵衛」(02)が日本アカ
デミー賞15部門ほか数々の映画賞に輝き、第76回米国
アカデミー賞外国語映画部門ノミネート。「おとうと」
(10)では、第60回ベルリン国際映画祭でペルリナーレ・
カメラを受賞するなど、国内外で熱い支持を受ける。毎日
芸術賞、菊池寛賞、朝日賞、紫綬褒章受章。文化功労者、
日本芸術院会員。

監督 関本郁夫
1942年京都市生まれ。1961年、
東京都都立美術学校美術科に
入社。その後演劇部に移り、1973年
に監督デビュー。「元番長 タイマン
勝負」(74)、「好色女探(秘)物語」(75)、「
天使の欲望」(79)等の作品を精力的
に発表して熱狂的なファンを獲得。
1983年にフリーとなり、「東雲楼 女の乱」(94)で東映
作品に復帰。「極道の妻たち 赤い殺意-」(99)などの
極妻シリーズ、「おとうと」(02) (上田ロケ)や「スクール
ウォーズ HERO」(04)をヒットさせる。

俳優 田中要次
国鉄職員、JR東海の社員を経て、
1989年山川直人監督「SEEK AND
FIND」に起用される。その後、竹中
直人監督「無能の人」に照明助手と
して参加。俳優としてだけでなく、
スタッフの仕事も経験する。同監督
「119」を最後に俳優業に専念。テ
レビドラマ「HERO」のバーテン役で出演人気を博す。
ドラマや映画、CM、PVなど幅広く活躍。

照明技師 安河内央之
1946年生まれ。21歳でフリーの照
明助手となり「照明の神様」熊谷秀
夫に師事。83年「居酒屋兆治」で一
人立ち。85年「夜叉」、94年「TRAMPOL」、
97年「東京日和」で3度の日本アカ
デミー賞優秀照明賞受賞。カメラマン
佐々木原保志とのコンビで竹中
直人監督全作品を手掛ける。上田市に「映画の里」を建設。
ショートフィルムを世に送りだしている。

監督 山岸謙太郎
1977年須崎市生まれ。00年にProje
ctYamakenを旗揚げ。07年に公開した
「ヤクヰドロポウ」が話題を呼び、
上海国際映画祭、うたて城下町映画
祭など数々の映画祭で入選。その後、
ヤフームービーや商業DVD作品など
監督として活動中。



上田文化会館は
上田駅より
徒歩20分
「上田駅前(お城口)に
タクシー乗り場あり」
上田文化会館
健康プラザうたて
合同庁舎
図書館
上田市
マルチメディア
情報センター
上田駅前(お城口)
至至本
至至所温泉
至至所温泉

●この秋、県内で4つの映画祭が開催されます。うたて城下町映画祭のチケットの半券持参で
各映画祭が前売料金で当日入場できます。

映画研究者 円尾敏郎
高知大学卒業後、東宝関西興行へ入社。渡辺
文樹監督に誘われ映画の現場へ。森崎東、
斎藤信三監督の助監督を経てプロデュー
サーへ。その後、映像編集会社に所属し、編
集者、ピデオカメラマンへ。加藤泰監督
特集上映会のゲスト交渉を手伝い、ワイ
ズ出版と出会う。映画本の編集、編者、インタビュー、校正を
数多く担当。

うたて城下町映画祭実行委員長 映画評論家 品田雄吉
1930年北海道生まれ。北海道大学卒業後、
映画雑誌「キネマ旬報」編集部。「映画批評」
編集長を経て、1965年よりフリーの映画
評論家。執筆活動、テレビ出演の他、各大学の
教授・学部長等を歴任。国際映画祭の審査員
も多数務める。

総務会 フリーアナウンサー 大岩堅一
1958年、千葉県生まれ。1980年、大蔵朝日放送入社。
主にラジオの深夜放送・音楽番組、テレビのパラ
ティーンなどを担当。1988年、F.M長野入社。2006
年4月よりフリーとして活動。現在、F.M長野「ミド
ルエイジ・コンジャス〜土曜アメニ〜」、SBCラジオ
「YOUZA深志3丁目」(月・火・午後4時~4時30分)お
やじバンド・フェスティバル(長野市)に出演中。